

# インターネット等 による人権侵害

## ○ ネットの先には、「感情をもった人間」がいる。

ショッピング、銀行、SNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）など、インターネットは、今や私たちの暮らしに欠かせない道具の一部になってきました。

しかし、利用者が急増するにしたいがい、ネットを悪用した人権侵害や犯罪も増えています。

インターネットの先には、必ず情報を受け取る「感情をもった人間」がいることを忘れていませんか？

「顔が見えないから、名前が出ないから」だから、自分の行動に思いやりの心を持つことが大切です。



## ○ ネットの社会でも、現実社会と同じルールとモラルを

### ● インターネットによる人権侵害や犯罪が急増

インターネットの普及で、誰が多くの情報を簡単に得られるようになり、私たちの生活は、とても便利になりました。

しかし、その一方で個人や団体を誹謗中傷する書き込みなど、人権を侵害する事件や、出会い系サイトへの書き込みから犯罪に巻き込まれたりする事件などが急増しています。

### ● インターネットによる人権侵害の特徴とは？

一度、インターネットに掲載された情報は、簡単に複製・合成できてしまいます。また、内容が次々とコピー、転送され、またたく間に世界中に広がってしまいます。匿名性をいいことに、内容が悪質なものになりやすく、被害者の精神的な不安や負担も大きくなるのが、インターネットによる人権侵害の特徴です。

### ● 日常生活と同様守るべきルールがある

楽しく安全にインターネットを利用するためには、日常生活と同様、ルールやマナーを正しく守り、メディア・リテラシーを身につけることが大切です。

メディア・リテラシーとは、情報をそのまま受け取るのではなく、その真偽を見抜き活用する能力のこと。そして、何よりネットの先には、必ず「感情を持った人間」がいることを常に忘れないことが大切です。現実社会で許されないことは、ネット社会においても許されません。

正しい知識と認識を深め、差別や偏見をなくすことが大切です。

又、人権に関する研修会も随時開催していますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。



## ○ 一緒に考えよう、インターネット等による人権侵害

### ● プロバイダ責任制限法

現在、「プロバイダ責任制限法」に基づき、誹謗中傷などの書き込みに対して、サイト管理者へ削除要請を行うことができます。また、犯罪が疑われる場合には、発信者の特定を行うこともあり、書き込みが「名誉棄損」「脅迫罪」「侮辱罪」などに該当した場合は、刑事事件として検挙されることもあります。ネット社会では、自分の行為には責任が伴うことを自覚することが大切です。

### ● こんな書き込みは人権侵害

本人の許可なく、住所や電話番号、メールアドレスなどを公開する。他人を誹謗中傷するような情報を一方的に掲載する。事件や事故などの関係者のプライベートな情報を公開する。このような書き込みは、深刻な人権侵害になります。

### ● 学校裏サイト

文部科学省は、平成20年からいじめの温床にもなっていると言われるインターネット上の掲示板「学校裏サイト（学校非公式サイト）」の実態調査を開始しました。このサイトは、子ども達の情報交換のために立ち上げた掲示板で、匿名であることをいいことに、掲示板に個人を攻撃する誹謗中傷の書き込みがエスカレートしがちな点が問題視されています。